技術・家庭

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活と技術についての、基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 各教科における学習活動

ペアワーク・調理実習・製作・レポート・実技テスト・学習プリントの活用・生徒の相互支援・定期考査等

学習喚起ルーブリック

生徒の望ましい姿 / 教科活動	優	良	可	未達成
ペアワーク	人の話をよく聞き、自分の意見がしっかり言え、意見をまとめられる。	人の話を聞き、自分の意見が言える。	人の話を聞いたり、自分の意見が言うのが不十分である。	十分な時間取り組むことができなかった。
調理実習	食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、衛生や安全に配慮しながら仲間と協働して調理作業に取り組んでいる。	衛生や安全に配慮しながら仲間と協働して調理作業に取り組んでいる。	仲間と協働して調理作業に取り組んでいる。	
布を用いた製作	製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。さらに、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	用具を安全に取り扱い、作品が仕上がるまで粘り強く取り組んでいる。	
レポート	資料の内容や社会的な話題の背景にある情報を理解し、多角的に分析したうえで、自分の考えを表現することができる。	資料の内容や社会的な話題に関する概要や要点を踏まえ、自分の考えをまとめることができる。	資料から必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめることができる。	
実技テスト	課題に主体的に取り組み、十分満足できる技能を身に付けている。	課題に取り組み、おおむね満足できる技能を身に付けている。	課題に取り組んだが、技能の習得が不十分である。	
ポートフォリオ	学習内容の理解を深めるとともに、新たな疑問を持ち、自分で調べたことや実践したことをまとめている。	学習内容について理解を深め、次回以降の心がけたいことを考えることができている。	学習内容について、振り返りや理解の深まりが不十分である。	

3. 各科目

1年	技術	家庭
2年	技術	家庭
3年	技術	家庭
5年	家庭基礎	

「１年　技術」

使用教材　未来を創る Technology（東京書籍）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
技術が生活の向上や産業の発展に果たしている役割について理解を深める。 製作活動を通じて適切な工具の選択ができるとともに、材料や工具、その他の基礎的な知識や技能を身に付けている。	環境保全や人間生活の向上のために，技術をどのように活用すべきか、また使用目的や使用条件に即した製作品の機能と構造について考えること。そして木材を利用した製作品の設計・製作に関する構想を表現する。	木材の種類や特徴に関心を持ち、生活の中で木材の役割を調べようと取り組む姿勢を育み、製作活動では製作品が目的の働きをしない場合にその原因を追究し，製作品の検討及び修正をしている。

年間の学習内容

材料と加工の技術	①	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み
	②	木材で作られた本棚など例示題材での学習
	③	材料の特性と材料に適した加工方法
	④	製作品に適した加工工程と加工技術の習得
	⑤	木材の種類、木材の構造や強度について
	⑥	材料と加工の技術による問題解決
	⑦	製図
	⑧	図の種類と表す方法
	⑨	線の種類
生物育成の技術	⑩	作物の種類とその生育過程及び栽培

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	技術分野のガイダンス	【知】評価設定なし 【思】評価設定なし 【態】技術分野の学習に 見通しを持ち，主体的に学習に取り組もうとしている。
	「身の回りの製品	【知】身の回りの製品について、日常使用している名称を述べる。 【思】身の回りの製品の使い方を描き表す。 【態】身の回りの製品を調べ，発表する。
	身の回りの製品に込められた技術や技術 の発達について	【知】身の回りの製品の役割を知る。 【思】身近な製品を多角的な視点で捉えている。 【態】製品に備わる技術や技術の発達について調べている。
	家庭で使用している木工製品の確認	【知】どのとうな木工製品があるのかを知り、理解している。 【思】材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 【態】主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。
	社会での木工製品の利用を確認	【知】どのとうな木工製品が利用されているのかを知り、理解している。 【思】材料と加工の技術に込められた問 題解決の工夫について考えている。 【態】主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。
③	木材の 特性について	【知】材料や加工の特性等の原理・法則 と，材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。 【思】木材を中心に材料と特性を考え、問題解決の工夫化を表現する。 【態】木材材料に適した加工方法に関連させた木材の性質や特徴を調べようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
④	作業手順を考えた製作	【知】ミニやすり製作における作業手順を考えた技能がある。 【思】材料と加工の技術による問題解決を考えていく 【態】主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。
⑤	木材の種類と強さを学習	【知】木材の種類と方向性による強さを知る。 【思】木材の種類や繊維方向とどのような強度が関係するのか，これまでの技術と比較して考える。 【態】構造や部材がどのように工夫されているかを調べている。
⑥	構造や部材について	【知】身の回りの製品に生かされている構造と部材に適した加工方法について理解している。 【思】材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り，技術の見方・考え方に気付くことができる。 【態】主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。
⑦	平面や立体で作品を表す	【知】実際の製作作業との関わりを踏まえて，図面を描くための概念を理解している。 【思】問題を見いだして課題を設定し，図面製作の過程や結果の評価，改善及び修正について考えている。 【態】製図について身近な例を題材にしようとする態度を高めている。
⑧	製図基本と製作に必要な図の描き方	【知】製作に必要な図をかき，適切な図の選択と描写等ができる技能を身に付けている。 【思】課題の立体を平面化するとともに，描写結果の評価，改善及び修正について考えている。 【態】よりよい図面や視認性を意識して課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりしようとしている。
⑨	製図で使われている様々な線	【知】三角定規を上手に使って，丁寧にかくことができる。 【思】どのような場合に用いたらよいのか、線の用途を考えている。 【態】線の使い方によって，他者に正しく図面を理解させることができるのか見本と比較させながら，製図でのルールを活用しようとしている。
⑩	生物育成と社会生活	【知】日常生活との関わりを踏まえて，栽培と飼育の技術の概念を理解している。 【思】作物や花の栽培をかん水，保護などの作業や管理を具体化するとともに，栽培過程について考えている。 【態】栽培の目的や環境条件に適した草花や野菜等を分類したり整理している。

「１年　家庭」

使用教材　生活の土台　自立と共生（開隆堂）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め，生活の自立に必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し，家族・ 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。

年間の学習内容

B 食生活	①	食事の役割と中学生の栄養の特徴
	②	中学生に必要な栄養を満たす食事
	③	調理のための食品の選択と購入
	④	日常食の調理と地域の食文化
C 衣生活	⑤	生活を豊かにするものの製作
A　家族・家庭生活 B 食生活	⑥	生活の課題と実践

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	家庭分野のガイダンス	【知】評価項目なし 【思】家庭での活動と家族・家庭の基本的な機能について自分の生活経験から考えている。 【態】３年間の家庭科の授業で，自分が身につけたいことや，知りたいことを書いている。
	どうして食事をするのだろう	【知】生活の中で食事が果たす役割について理解している。 【思】自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。 【態】自分の食習慣について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	私たちの食生活	【知】健康によい食習慣について理解している。 【思】自分の食習慣について解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。 【態】よりよい食生活の実現に向けて，自分の食生活について，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	中学生に必要な栄養素	【知】中学生の１日に必要な食品の種類について理解している。 【思】中学生の１日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。 【態】中学生に必要な栄養を満たす食事について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
②	食品に含まれる栄養素	【知】栄養素の種類と働きが分かり，食品の栄養的な特質について理解している。 【態】よりよい食生活の実現に向けて，中学生に必要な栄養を満たす食事について，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	バランスの良い献立作り	【知】１日分の献立を作成する方法について理解している。 【思】中学生の１日分の献立について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。 【態】中学生の１日分の献立について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
③	生鮮食品の特徴	【知】日常生活と関連付け，用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 【思】食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。 【態】食品の選択について，課題の解決に主体的に取り組んでいる。
	加工食品の特徴	【知】日常生活と関連付け，用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 【思】食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。 【態】食品の選択について，課題の解決に主体的に取り組んでいる。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
③	食品の保存と食中毒の防止	【知】食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに，適切に選択できる。 【思】食品の選択について解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。 【態】よりよい生活の実現に向けて，食品の選択について，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
④	日常食の調理	【知】食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに，適切にできる。 【思】日常の１食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。 【態】日常の１食分の調理について，課題の解決に主体的に取り組んでいる。
	野菜・いもの調理	【知】野菜やいもに適した加熱調理の仕方について理解しているとともに，基礎的な日常食の調理が適切にできる。 【思】野菜やいもの調理上の性質や特徴を考えて野菜に適する調理の仕方を工夫することができる。 【態】衛生や安全に配慮しながら仲間と協働して調理作業に取り組んでいる。
	肉の調理	【知】材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに，基礎的な日常食の調理が適切にできる。 【思】調理の手順を見直し、課題を改善しようと工夫している。 【態】衛生や安全に配慮しながら仲間と協働して調理作業に取り組んでいる。
	魚の調理	【知】魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに，基礎的な日常食の調理が適切にできる。 【思】調理の手順や時間配分を考えて、実習計画を工夫している。 【態】衛生や安全に配慮しながら仲間と協働して調理作業に取り組んでいる。
	日本の食文化と和食の調理	【知】地域の食文化について理解しているとともに，地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 【思】和食の調理について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。 【態】和食の調理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	持続可能な食生活を目指して	【知】食品ロス，食料自給率など食生活のさまざまな問題とその背景を理解している。 【思】社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。 【思】社会や環境に配慮した食生活について考え，工夫している。 【態】自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている。 【態】よりよい食生活を目指して，食事の役割や栄養，献立，調理などについて，工夫し創造し，実践しようとしている。
⑤	製作の基礎・基本	【知】製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに，用具を安全に取り扱い，製作が適切にできる。 【思】資源や環境に配慮し，生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。 【態】よりよい生活の実現に向けて，生活を豊かにするための布を用いた製作について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
⑥	生活の課題と実践	【知】評価項目なし 【思】自分や家族の衣生活や環境について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。 【態】よりよい生活の実現に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。

「２年　技術」

使用教材　未来を創る Technology（東京書籍）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
生活や社会，環境との関わりを踏まえて，材料と加工の技術の概念を理解している。加工技術や生物育成技術等の発達が生活様式や自然環境との関わりについて技術の果たしている役割とそれらの知識を身に付けている。	材料と加工の技術によって解決できる問題を見つける。 発見した問題を解決するための課題を設定する。 材料と加工の技術を評価し，適切な選択と管理・運用の在り方や，新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。 身近な機械や電気機器に利用されている技術の意味や役割について調べようとしている。

年間の学習内容

材料と加工の技術	①	木材の種類、木材の構造や強度について
	②	材料と加工の技術による問題解決
	③	製図
	④	図の種類と表す方法
	⑤	線の種類
生物育成の技術	⑥	作物の種類とその生育過程及び栽培
	⑦	動物を育てる技術
電気について	⑧	電気と電気回路について
	⑨	テーブルタップ製作
	⑩	電気エネルギーと電気を供給する仕組み

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	技術分野のガイダンス	【知】評価設定なし 【思】評価設定なし 【態】技術分野の学習に 見通しを持ち，主体的に学習に取り組もうとしている。
	木材の種類と強さを学習	【知】木材の種類と方向性による強さを知る。 【思】木材の種類や繊維方向とどのような強度が関係するのか，これまでの技術と比較して考える。 【態】構造や部材がどのように工夫されているかを調べている。
②	構造や部材について	【知】身の回りの製品に生かされている構造と部材に適した加工方法について理解している。 【思】材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り，技術の見方・考え方に気付くことができる。 【態】主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。
③	平面や立体で作品を表す	【知】実際の製作作業との関わりを踏まえて，図面を描くための概念を理解している。 【思】問題を見いだして課題を設定し，図面製作の過程や結果の評価，改善及び修正について考えている。 【態】製図について身近な例を題材にしようとする態度を高めている。
④	製図基本と製作に必要な図の描き方	【知】製作に必要な図をかき，適切な図の選択と描写等ができる技能を身に付けている。 【思】課題の立体を平面化するとともに，描写結果の評価，改善及び修正について考えている。 【態】よりよい図面や視認性を意識して課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりしようとしている。
⑤	製図で使われている様々な線	【知】三角定規を上手に使って，丁寧にかくことができる。 【思】どのような場合に用いたらよいのか、線の用途を考えている。 【態】線の使い方によって，他者に正しく図面を理解させることができるのか見本と比較させながら，製図でのルールを活用しようとしている。
⑥	生物育成と社会生活	【知】日常生活との関わりを踏まえて，栽培と飼育の技術の概念を理解している。 【思】作物や花の栽培をかん水，保護などの作業や管理を具体化するとともに，栽培過程について考えている。 【態】栽培の目的や環境条件に適した草花や野菜等を分類したり整理している。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
⑦	人と動物との関わりについて	【知】人と動物との関わりと動物を健康に育てるための技術について理解している。 【思】ウシやブタ，ヒツジなどの家畜を例にしながら，動物を健康に育てるための技術について考える。 【態】主体的に生物育成の技術について分類、整理している。
⑧	電気回路を表す電気の基礎	【知】電気機器や電気回路の仕組みについて理解している。 【思】簡単な電気回路を回路図で表すことができる。 【態】電気回路の仕組みや使われている技術について考えようとしている。
⑨	電気機器の安全な使い方について	【知】製作品の組立て・調整や，電気回路の配線・点検ができること。 【思】作業手順に基づいて，回路製作の計画を立てる力を身に付けている。 【態】安全に配慮し，製作，実装，点検・調整を行う取り組みがある。
⑩	電源の種類と特徴について	【知】電源の種類と特徴や，送電・配電の仕組みを理解している。 【思】送電・配電の技術の工夫について考えている。 【態】生活の中で使用している電気機器と結び付けながら，配電の仕組みについて考えようとしている。

「２年　家庭」

使用教材　生活の土台　自立と共生（開隆堂）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め，生活の自立に必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し，家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。

年間の学習内容

B 衣生活	①	衣服の選択と手入れ
	②	生活を豊かにするために
B 住生活	③	住まいの役割と安全な住まい方
C 消費生活・環境	④	私たちの消費生活
	⑤	責任ある消費者になるために

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	どうして衣服を着るのだろう	【知】目的に応じた着用について理解している。 【思】衣服の選択について問題を見いだして課題を設定している。 【態】衣服の選択について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	私らしさとT.P.O.～着方の工夫～	【知】個性を生かす着用について理解している。 【思】自分らしい着方について考え，工夫している。 【態】目的に応じた着用を踏まえた自分らしい着方について，工夫し創造し，実践しようとしている。
	日本の衣文化	【知】衣服と社会生活との関わりについて理解している。 【思】評価項目なし 【態】評価項目なし
	衣服計画と必要な衣服の選択	【知】衣服の計画的な活用の必要性について理解している。 【思】衣服の選択について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。 【態】よりよい生活の実現に向けて，衣服の選択について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	衣服の手入れ	【知】衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 【思】日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定している。 【態】日常着の手入れについて，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
②	持続可能な衣生活をめざして	【知】評価項目なし 【思】社会や環境に配慮した衣生活について問題を見いだして課題を設定している。 【態】自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている。
③	もしも住まいがなかったら	【知】住居の基本的な機能について理解している。 【思】住生活について問題を見いだして課題を設定している。 【態】家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	住まいと気候風土の関わり/健康で快適な室内環境	【知】家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。 【思】家族の安全を考えた住空間の課題について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。 【態】家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
③	家族の住まいを安全・安心に	【知】家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 【思】住生活について問題を見いだして課題を設定している。 【態】家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	災害への対策	【知】自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 【思】家族の安全を考えた住空間の課題について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。 【態】家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	持続可能な住生活をめざして	【知】評価項目なし 【思】社会や環境に配慮した住生活について考え，工夫している。 【態】自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている。
④	消費者としての自覚	【知】売買契約の仕組みについて理解している。 【思】評価項目なし 【態】計画的な金銭管理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	購入方法と支払い方法	【知】購入方法や支払い方法の特徴が分かり，計画的な金銭管理の必要性について理解している。 【思】物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想している。 【態】計画的な金銭管理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	バランス良く計画的な金銭の管理	【知】計画的な金銭管理の必要性について理解している。 【思】物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。 【態】商品（物資・サービス）の選択と金銭管理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	消費者トラブルとその対策	【知】消費者被害の背景とその対応について理解している。 【思】自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 【態】消費者被害の対応について，課題の解決に主体的に取り組み，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	何を考えて決めますか～意思決定のプロセス～	【知】物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 【思】物資・サービスの購入について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。 【態】計画的な金銭管理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
⑤	消費者としてできること～権利と責任～	【知】消費者の基本的な権利と責任について理解している。 【思】自立した消費者としての消費行動について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。 【態】よりよい生活の実現に向けて，消費者の権利と責任について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	省エネルギーと持続可能な社会	【知】自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 【思】自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 【態】よりよい生活の実現に向けて，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	持続可能な消費生活を目指して	【思】自立した消費者としての消費行動について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている 【態】よりよい生活の実現に向けて，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。

「３年　技術」

使用教材　未来を創る Technology（東京書籍）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
育成する生物の成長，生態の特性等の原理・法則と，育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。 電気に関して、安全・適切な製作，実装，点検及び調整等ができる技能を身に付けていく。	問題を見いだして課題を設定し，電気回路を構想して設計を具体化するとともに，製作の過程や結果の評価，改善及び修正について考えている。	主体的に生物育成の技術について考え，理解しようとしている。よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりしようとしている。

年間の学習内容

生物育成の技術	①	作物の種類とその生育過程及び栽培
	②	動物を育てる技術
電気について	③	電気と電気回路について
	④	テーブルタップ製作
	⑤	電気エネルギーと電気を供給する仕組み
	⑥	発電所から家庭に電気が届くまで
コンピュータと情報技術	⑦	情報の表現や記録ができる仕組み
	⑧	コンピュータの基本構成

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	技術分野のガイダンス	【知】評価設定なし 【思】評価設定なし 【態】技術分野の学習に 見通しを持ち，主体的に学習に取り組もうとしている。
	生物育成と社会生活	【知】日常生活との関わりを踏まえて，栽培と飼育の技術の概念を理解している。 【思】作物や花の栽培をかん水，保護などの作業や管理を具体化するとともに，栽培過程について考えている。 【態】栽培の目的や環境条件に適した草花や野菜等を分類したり整理している。
②	人と動物との関わりについて	【知】人と動物との関わりと動物を健康に育てるための技術について理解している。 【思】ウシやブタ，ヒツジなどの家畜を例にしながら，動物を健康に育てるための技術について考える。 【態】主体的に生物育成の技術について分類、整理している。
③	電気回路を表す電気の基礎	【知】電気機器や電気回路の仕組みについて理解している。 【思】簡単な電気回路を回路図で表すことができる。 【態】電気回路の仕組みや使われている技術について考えようとしている。
④	電気機器の安全な使い方について	【知】製作品の組立て・調整や，電気回路の配線・点検ができること。 【思】作業手順に基づいて，回路製作の計画を立てる力を身に付けている。 【態】安全に配慮し，製作，実装，点検・調整を行う取り組みがある。
⑤	電源の種類と特徴について	【知】電源の種類と特徴や，送電・配電の仕組みを理解している。 【思】送電・配電の技術の工夫について考えている。 【態】生活の中で使用している電気機器と結び付けながら，配電の仕組みについて考えようとしている。
⑥	発電所から家庭に電気が届く交流について	【知】日本のエネルギーの供給構成を知る。 【思】送電・配電の技術の工夫について考えている。 【態】交流の波形を理解し波形を視覚化する作業に取り組む。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
⑦	情報と２進数によるデジタル化	【知】情報の表現，記録，計算，通信の特性等の原理・法則と，情報のデジタル化等に関わる基礎的な技術の仕組みについて理解している。 【思】情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 【態】主体的に情報の技術について考え，理解しようとしている。
⑧	ハードウェアやソフトウェアの構成	【知】情報の技術には，入出力機能，記憶機能，演算・制御機能があり，身の回りのさまざまな製品にそれらの５つの機能と装置があることを理解する。 【思】ハードウェアやソフトウェアの構成について，どのような処理が可能になったかを考える。 【態】なぜハードウェアはソフトウェアがなければ動作しないのか考えようとしている。

「３年　家庭」

使用教材　生活の土台　自立と共生（開隆堂）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め，生活の自立に必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し，家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。

年間の学習内容

A 家族・家庭生活	①	家族・家庭と地域
	②	幼児の生活と家族
	③	これからの家族と地域

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	私たちの生活と家族・家庭の機能	【知】評価項目なし 【思】評価項目なし 【態】自分の成長や周囲の人びととのかかわりを通して，自分らしさについて考えている。
	家庭生活と地域との関わり	【知】家庭には様々な活動があることと，家庭の主な機能（はたらき）について理解している。 【思】現在の自分が家庭を支える仕事について何ができるか考えている。 【態】自分の成長や周囲の人びととのかかわりを通して，家族について考えている。
②	幼い頃の振り返り	【知】幼い頃を振り返り，周囲の人との関わりの大切さについて理解している。 【思】幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 【態】幼児との関わり方について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	幼児の体の発達	【知】 幼児の身体の発達の特徴について理解している。 【思】【態】よりよい生活のために，幼児との関わり方について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	幼児の心の発達	【知】 幼児の心の発達の特徴について理解している。 【思】【態】よりよい生活のために，幼児との関わり方について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	支えられて身に付ける生活習慣	【知】子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 【思】家族の立場から幼児との関わり方について考え，工夫している。 【態】家族の立場から幼児との関わり方について，工夫し創造し，実践しようとしている。
	幼児の生活と遊び	【知】幼児にとっての遊びの意義について理解している。 【思】幼児の遊びの意義を踏まえ，幼児との関わり方を工夫している。 【態】幼児との関わり方について，課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
	幼児との関わり方の工夫	【知】子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している 【思】幼児との関わりについて解決策を構想している。 【態】幼児との関わり方について，課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
	幼児との関わり方を生活に生かす	【知】幼児との関わり方について理解している。 【思】幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し，計画している。 【態】幼児との関わり方について，課題の解決に主体的に取り組み，課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し，工夫し創造し，実践しようとしている。
	ふれ合い体験	【思】幼児との関わり方の課題解決に向けた一連の活動について，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。 【態】幼児との関わり方について，課題の解決に主体的に取り組み，課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し，工夫し創造し，実践しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
③	家族との関わり	【知】家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。 【思】地域の人々と関わり，協働する方法について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【態】地域の人々と関わり，協働する方法について，課題の解決に主体的に取り組み，課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し，工夫し創造し，実践しようとしている。
	家族や地域の高齢者との関わり	【知】介護など高齢者との関わり方について理解している。 【思】高齢者との関わり方について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【態】高齢者との関わり方について，課題の解決に主体的に取り組み，課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し，工夫し創造し，実践しようとしている。
	地域での協働を目指して	【思】社会や環境に配慮した家庭・保育・地域などの生活について問題を見いだして課題を設定している。 【態】自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている。

「５年　家庭基礎」

使用教材　　Agenda 家庭基礎(実教出版)

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

年間の学習内容

A　人の一生と家族・家庭及び福祉	A①	生涯の生活設計
	A②	青年期の自立と家族・家庭
	A③	子供の生活と保育
	A④	高齢期の生活と福祉
	A⑤	共生社会と福祉
B　衣食住の生活の自立と設計	B①	食生活と健康
	B②	衣生活と健康
	B③	住生活と住環境
C　持続可能な消費生活・環境	C①	生活における経済の計画
	C②	消費行動と意思決定
	C③	持続可能なライフスタイルと環境
D　ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	D①	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
A①	ガイダンスと生涯の生活設計	【思】【態】自らのこれまでの生き方を探ったうえで，主体的な生活設計の検討ができる。
	これからをどう生きるか	【知】個人の生き方や性のあり方など多様性の尊重について理解している。 【思】社会と生き方の多様化の広がりと差別のない社会をつくる方法を考える。 【態】社会と生き方の多様化を把握するとともに，他者との比較を通して自己を客観的に見る視点を養うことができる。
A②	青年期の自立	【知】青年期の意味と自立への課題について理解し，今後の人生選択に関係する基礎的・基本的な知識を身につけている。 【思】【態】青年期の課題としてとらえ，現在の自分の課題をみいだすことができる。
A②	社会の変化と家族	【知】家族構成の変化とその背景について理解する。 【思】【態】家族・家庭生活のあり方に関心を持ち，男女が協力して家庭や社会を築くことの重要性を考えようとしている。
	家族・人生・生き方と法律	【知】家族に関する法律を理解し，多様な家族のあり方について広い視野を養う。 【思】【態】家族法の内容と今後の課題について理解したうえで，多様な生き方を尊重し男女が協力して社会を築くという考え方を身につけている。
	多様な課題を抱える家族・家庭	【思】家族の抱える困難に対して社会ができることを考えまとめる。 【態】家族や個人の抱える社会課題に関心を持ち，課題解決に向けた取り組みを調べることができる。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	持続可能な生活と仕事	【知】【思】多様な生き方・パートナーシップの保障，男女共同参画，ワーク・ライフ・バランスを踏まえた家事・職業のあり方などについて理解し，ライフスタイルをめぐる問題やワークルールなどについての基礎的・基本的な知識を身につけている。 【態】評価項目なし
	多様な生き方を 保証する社会へ	【知】【思】理想の生き方やパートナーシップのあり方について，現在の社会的な問題や多様性の尊重なども理解したうえで，将来の生活を想定した生活設計にいかすことができる。
A ③	子どもの心と からだの発達	【知】子どもの身体的・精神的発達について理解している。 【思】【態】子どもや子育てに関心をもち，子どもを取り巻く地域の人間として，あるいは将来の親として，子どもが健やかに成長するためにはどうしたらいいのかを，意欲的に考えようとする。
	子どもの生活	【知】生活リズムや基本的生活習慣の援助について理解する。 【思】子どもの生活習慣を理解し，子どもの健康と安全について考えることができる。
	子どもと遊び	【知】子どもの生活の中心である遊びを理解する。 【思】【態】子どもと遊びを通じてふれあうことで，子どもが安心して遊びを楽しむための工夫を考えることができる。
	子どもの育つ 環境と社会	【知】子育て環境の課題とさまざまな子育て支援について理解する。 【思】子育てに関する制度などを理解し，子どもを取り巻く環境の変化と関連させて考えることができる
	子どもの権利と福祉	【知】子どもの権利や福祉について理解する。
	子どもと共に育つ	【思】子どもの育ちを支えるためにできることを考える。 【態】子どもの育ちを支えるためにできることを考え，未来に向けて共に育つ姿勢を身に付ける。
A ④	高齢者を知る	【知】高齢者の心身の変化を理解する。 【態】高齢者に対する自分の現在のイメージなどについて意見や考えをまとめられる。
	高齢社会の現状と課題	【知】高齢社会の現状と課題について理解する。 【思】高齢期の問題について，ライフコースのなかで自らが将来直面することとして，高齢者の生活上や福祉の問題を考えることができる。
	高齢者の尊厳と 自立の支援	【知】高齢者の尊厳や人権について理解し，高齢者の生活支援に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。 【思】高齢者や認知症の方との関わり方について調べ、介護者の心構えについて考える。
	高齢者を支える制度と しくみ	【知】【思】高齢者の心身・生活の特徴や高齢社会の現状，福祉制度などを理解し，それらについての基礎的・基本的知識が身についている。
A ⑤	生活を支える福祉と 社会保障制度	【知】現在の日本の社会保障制度が直面する課題とその背景について理解する。 【思】日本の社会保険制度の特徴や課題について、自分の考えをまとめることができる。
	共生社会の実現に 向けて	【知】【思】共生社会のあり方とノーマライゼーションなどの基本概念を理解し，それらについての基礎的・基本的な知識を身につけている。
B ①	食べることを 通して	【思】さまざまな観点から日ごろの食生活を振り返ることで課題を見つけることができるようにする。 【態】食事の意義とその役割を理解し，現代の食生活の課題について関心を持つことができる。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	栄養と食品	【知】バランスのよい食生活の重要性を理解し，エネルギーや食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすについて理解している。
	栄養素のはたらきと 食品の栄養	【知】栄養素の種類とその特徴に関する知識を習得し，またそれらを多く含む食品の特徴を理解している。 【態】身近な食品に含まれる栄養素とそのはたらきについて関心を持ち、実生活に活かすことができる。
	食品の選択	【知】食品の表示に関する基本的な知識を身につけている。 【態】食品のさまざまな表示内容を理解し，食品選択を主体的に選ぶことができる。
	食品の取り扱い	【知】食品の保存，食中毒，食品添加物等の基本的な知識を身につけている。
	食品の安全性	【思】安全性，環境などの多様な視点を持ち，現代の食生活の問題点および課題を見出し，思考を深めている。 【態】食の安全性について理解し，問題意識を持つ。
	豊かな食生活の 背景には	【知】日本の食料自給率について理解する。 【思】自らの食生活について，栄養，環境，食品の選択，経済性などの視点から，問題点・課題と解決の方向性をみいだすことができる。
	食事をつくる	【知】【思】栄養や食品についての知識を元に健康を考えた献立を作成し，調理についての基本的な技術や食品の特性をいかした調理法について理解し，実践できるようにする。 【態】調理について主体的かつ協働的に取り組むことができる。
B ②	衣生活を見直す	【知】着方を工夫することの重要性を理解する。 【態】衣生活と衣服に関心をもち，自らの衣生活をより豊かで充実したものにするために，知識や技能の習得に意欲的に取り組もうとする。
	衣服の機能と着装	【知】衣服の機能について理解し，TPO に応じた適切な衣服の選択ができる。 【思】衣服を着装する際に気を付けるポイントについて TPO を踏まえて考える。
	衣服の材料と 成り立ち	【知】【思】用途や着用目的に合った被服材料の選択や管理ができる
	衣服の管理	【知】【態】衣服の性質を理解した上で適切な洗濯の方法を選択する力を身につけ、実践しようとしている。
	安心して衣服を 着るために	【知】衣服を着る意味，服装についての自己決定力の意味を理解し，個性豊かで健康的な衣生活を送るために必要な，衣服の材料・管理方法などについての基礎的・基本的な知識を身につけている。 【思】課題解決のために必要な衣服の管理・廃棄の方法を判断・選択する力を身につけている。
B ③	ライフスタイルと 住まい	【知】ライフステージに応じた住まいの変化とライフスタイルと住まいの関係について理解する。 【思】【態】間取りを理解したうえで，適切な住まいについて考える力を身につけている。
	住まいの安全・ 安心	【知】健康で安全な住まい・住まい方をするために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。 【思】室内環境と健康とのかかわりを理解し，それについての対策をできるようにする。
	住環境の安全・ 安心	【知】暮らしにあった住まいの種類や間取り，健康で安全・快適な住環境や地域環境についての基礎的・基本的な知識を身につけている。 【思】【態】災害に備える取り組みについて理解し，行動につなげる。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	住まいの選択	【知】住まいと住まい方，地域に関心をもち，自らの住生活を安全で人間らしい充実したものにするために必要な知識・技術を身につけている。 【思】住まいとその役割について理解し，将来の適切な選択につなげられるようにする。
	住まいづくり・ まちづくりへの 参加	【思】自らの住まいと地域について，生活上の課題や住要求，健康・安全・快適性などの面から，問題点・課題をみいだすことができる。 【態】問題点・課題の解決のために必要な，住まいの選択・管理・改修の方法，地域社会への関わり方を判断する力を身につけている。
C ①	お金の管理と ライフデザイン	【知】ライフイベントにかかる費用やリスク、収入と支出について理解する。 【思】自らの消費行動のなかでの問題点や家計管理のポイントを，社会や環境との関わりも含め，みつけることができる。
	暮らしと 経済のかかわり	【知】家計の管理，家庭経済と国民経済の関わりについて基礎的・基本的な知識を身につけている。 【態】経済活動と消費行動の国際化について理解し，問題意識を持つ。
C ②	意思決定と契約	【知】商品の購入における契約のプロセスについて理解する。 【思】問題解決のために，情報の選択・発信や購入の選択など，自ら主体的に判断し意思決定する力を身につけている。
	購入方法の多様化	【知】契約の原理と消費者信用の内容を理解しており，支払い方法の適切な判断ができる。 【態】消費者信用の重要性を理解し，将来の行動につなげることができるようにする。
	消費者問題	【思】日常生活の中で，消費者被害の防止のためにどんなことに気をつければよいか考えることができる。 【態】消費者被害の構造を理解し，問題商法の被害に遭わない・加害者にならないようにする姿勢を養う。
	消費者保護	【知】消費者を守る法律，支援制度について理解する。 【態】消費をめぐるトラブルに直面した場合の解決方法や手段を身につけている。
C ③	持続可能な社会を めざして	【知】【思】大量消費社会の諸課題について理解し，持続可能な社会の実現をめざして考えを深めている。 【態】自らの生活や消費行動の環境への影響に関心をもち，持続可能な社会の実現に向けて主体的で責任ある行動をとろうとする。
	消費者市民社会	【思】自らの生活や消費行動のなかでの問題点や課題を，環境との関わりでみつけることができる。 【態】自らの消費行動と社会との関係や消費者情報に関心をもち，社会的影響や環境への負荷などに配慮しながら，主体的で責任ある消費行動をとろうとする。
D ①	生活設計 -自分の未来を描く-	【思】家庭科の学習で学んだことをふまえたうえで，これからの自分の職業や家族間，生きがいなどの将来像を考えることができる。
	ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	【思】家庭科の学習で学んできたことを活かし，課題解決のための過程を組み立てることができるまたそれを発表することができる。 【態】生活の中から課題を見つけ，自ら課題解決のために行動する。